

『発掘宇治, 20』

令和2年度 発掘調査・文化財速報



宇治市街遺跡発掘調査 (4~6月)



史跡宇治川太閤堤跡整備工事



庵寺山古墳公開 (11月)



大幣神事 (6月)

宇治市歴史まちづくり推進課

平成 19 年 (2007)
 宇治川太閤堤跡は、宇治橋下流の宇治川右岸での土地区画整理事業に伴う発掘調査により発見されました。豊臣秀吉によって築造された治水遺跡を見学し約 1600 人の方が現地説明会に来られました。



現地説明会の様子



この石は何?

平成 19 年発見時点



平成 21 年 (2009)

石出し 2 現地説明会の様子



石出し 2 現地説明会の様子



コンクリート施工状況



杭設置状況



架台設置状況



石積み状況



GRCパネ設置(一部試験塗装)



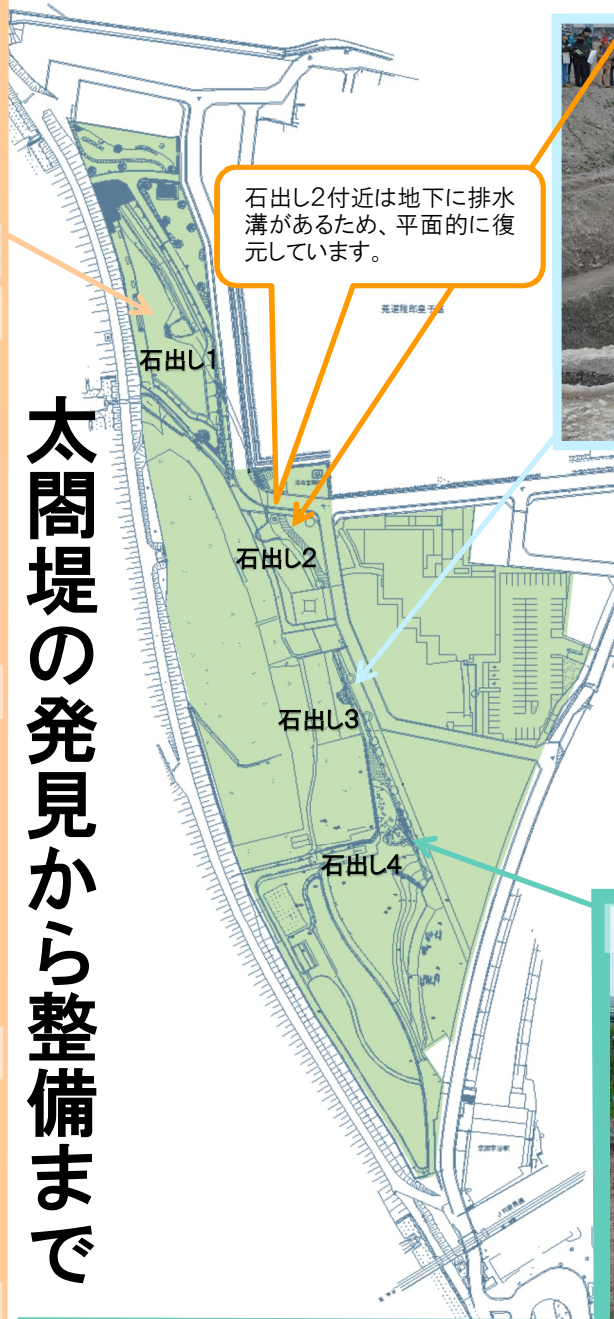
下塗り



石据え付け状況



上塗り



太閤堤の発見から整備まで



現地説明会の様子



発掘の状況



復元状況



石積み状況



石積み状況



復元状況



石出し形状出し



石積み状況



石積み状況



現地説明会の様子



現地説明会の様子



復元状況



復元状況

宇治市街遺跡発掘調査概要

令和2年春にJR宇治駅北側で、開発事業に伴う発掘調査を行いました。JR宇治駅や平等院などがあるエリアは「宇治市街遺跡(川西地区)」に該当します。これまでの調査で古墳時代から現代までの各時代における人々の暮らしの痕跡がこのエリアで発見されています。

今回の調査では、土師器皿、瓦片及び白磁片が出土したほか、大きな溝と溝に並んで杭が打たれていた護岸のようなものが存在していたことが分かりました。



発掘した多数の柱穴や土坑



洪水の痕跡(鎌倉時代)



土師器の小皿

大幣神事 宇治市指定無形民俗文化財

大幣神事は、梅雨時に中宇治に集まる疫神をまちの外に追い出す神事です。大幣と呼ばれる大きな御幣が行列とともに三角形街区を巡行し、辻々においてお祓いを行い、疫神を集め、宇治川に流して祓うものです。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当日の神事を縮小(巡行を中止し、大幣殿前の神事及び宇治橋西詰でのお祓いのみ実施)し、役員の方のみの参列で行われました。



大幣



県神社を出発した参列

庵寺山古墳一般公開

毎年春と秋に墳頂を開放し、一般公開しています。今年度は秋のみ一般公開を実施しました。



庵寺山古墳墳頂からの眺め



宇治橋西詰でのお祓い